残暑お見舞い申し上げます

せんごくの里ニュース

ふなで

2012年8月　　第5号

〒597-0042　貝塚市王子1183-3
TEL. 072-437-1075
FAX. 072-437-1076
発行者：岡田　透

2年目を迎えるにあたって

せんごくの里所長　岡田　透

早いもので、開所からもうすぐ2年目を迎えようとしています。思い返して見ますと、建設準備、開所説明会、利用者支援の受入れ体制、行政への手続きと時間の過ぎていく早さを感じています。

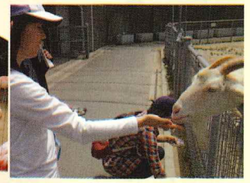
今では、作業内容も増え、一日外出や音楽療法の取り組み等も行うようになりました。今後も、利用者、家族の皆さんの声を大切にし支援内容の向上を追及していきたいと思います。

「せんごくの里」に明日も行きたいと思っていただける事業所運営を職員一同めざしています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

新緑に包まれた「花の文化園」での一日は、日頃のストレスや疲れも癒してくれます。

一日外出でさわやかリクレーション

動物園・花の文化園に行ってきました



天王寺動物園には、５月17日、24日、31日と３班に分かれＪＲに乗って出かけました。
毎回好天に恵まれ、絶好の行楽日和でした。一緒に食べる手づくり弁当はおいしかったです!!

花の文化園で（5月9日）

音楽療法

ミュージックケアが始まりました

音楽をきっかけにした身体の動きや表情でお互いの気持ちを伝え合う

浦川　暁美

この度、素敵なご縁を頂き、6月からミュージック・ケア（以下MCと記しますね）の実践でお伺いしています。MCは、「無理やりさせない。したくなるまで待つ」という事と、「したくない気持ちを尊重する」という事をもっとも大切にしています。クラシック曲やポピュラー曲、懐メロやMCオリジナル曲等を即興でプログラムし、楽器や道具を使って約一時間のセッションを作ります。身体の動きや表情でお互いの気持ちを伝え合う、言葉を使わないノンバーバル（言葉によらない）コミュニケーションの手法です。

メンバーさんの表現力の豊かなこと！普段の活動とは違う角度で関わらせていただく事で、今まで見逃していたかもしれない小さな変化を見つける機会になればと思います。是非一度、覗きにいらして下さいね。

↑テープを持って全員が輪になり、音楽に合わせ上へ下へ、揺らしたり、前へ出したり…

ラブリーせんごく

ネイルで、おしゃれ楽しみました。
この美しい手は誰??

自治会

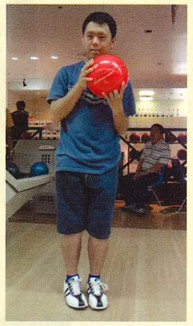
今年度の役員の皆さんです。一年間よろしく

音楽サークル

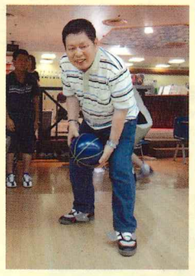
音楽好きのメンバーが、色々なうたを楽しみます。

お礼／みなさま方にお願いしてきました「大阪福祉財団後援会」へのご加入・継続ありがとうございました。引き続き未更新の方はご継続を、よろしくお願いしいたします。

4月には花見会を こすもすの里の 裏庭をお借りして開催



構えはプロ級
まかせなさい!



余暇を活用!!
みんなで行けば楽しい X2

カラオケ (7/12)
ボーリング (7/26)
喫茶 (7/18)
プール ①(7/27) ②(7/31)

新職員紹介

はじめまして
藤本 久美子です。
よろしく
お願いいたします。

春に第四中学校のみなさんで
植えていただいたマリーゴールド。
かわいい花をつけて元気に咲き誇ります。

新鮮力も加わり元気いっぱいがんばってます

今年４月には４名の仲間が新たに登場。新しい息吹は「せんごくの里」に活気を送ってくれています。

さいか えみ
雑賀 恵美さん

「白いくも」

就労継続支援Ｂ型事業

進化中です かふぇ&ベーカリー 白いくも

大好評で終了「ランチセール」

ポイントカードでさらにサービス充実

例年以上だった梅雨の大雨も終わるやいなや連日の猛暑。しかし、白いくものメンバーは、５月から雑賀恵美さんも加わり、元気に頑張っています。

８月からポイントカードを発行することになりました。カードにいっぱいポイントが溜まると店内で３００円分（カフェでもパンでも）使えます。ぜひ利用してください。また、7月23日～27日に実施しました、「ワンコイン（５００円）ランチセール」は大好評にて終了しました。今後ともいっそう、「白いくも」のご利用を心からお願いして、一同、笑顔とていねいなサービスをモットーに、お待ちしております。

「いきいき班」

おおた なおき
大田 直己さん

みうら こうや
三浦 滉也さん

４月より、いきいき班（生活介護事業）に大田さん、三浦さんと２名の新しいメンバーが入り仲間が増えました。

いきいき班では、ビーズアクセサリー、クッション、コースタなど新しい商品作りに利用者が中心になって日々の作業をすすめています。毎週水曜日の貝塚市福祉センターでのパン販売時とカフェ「白いくも」で自主製品の販売をしていますので、ぜひ見ににきてください。また、第二回貝塚ひびきあいまつりは来年５月に日程変更になりましたが、商品作りにこつこつとがんばっていきます。

「わくわく班」

はやし れおと
林 玲央人さん

４月からわくわく班（生活介護事業）には、林玲央人さんがメンバーに加わりました。また男性職員も1名増えますますにぎやかになりました。仕事もシャワー部品の組み立てやシリコンホースの仕事が新しくもらえるようになり給料アップを目指して頑張っています。

大好きな〝せんごくの里〟で いっぱい心ふくらませていってね

森西 弥生

家族の思い

毎朝なかなか起きない娘に
「今日は、せんごく 休むんやなっ!!」
で、目がパッチリ。

昼食のメニューをチェックしながら
「おいしそうやなぁ～」と笑顔。

大切な沢山の「お宝」をカバンに詰め込み
「よ～し 仕事がんばるぞ～!!」と家を出発

何たって、仲間が好き。職員が好き。
せんごくの里が好き。

色んな事が、まだまだあるだろうけれど…、
色んな経験を積み重ね、
いっぱい、いっぱい
心をふくらませていってほしいなぁ、
と願います。

毎日が楽しそうで安心

みんなと助け合って自立をめざして欲しい

中岡 幸治

学校を卒業してせんごくの里にお世話になって、早いもので、一年三ヶ月が経ちました。 潤忠は、学校が大好きで学校を休むことなく楽しそうに通学しました。なので、新しい環境で社会人としてやっていけるか…。親として大変心配しました。今までとは違う環境で働く事、働くことの大切さや大変なこと…、職員さんは大好きですが、先生とは違う事も話して、どうだろうか、解っているだろうか、自覚はあるだろうか…、と、不安だらけのスタートでした。

現在は、わくわく班でタオルのお仕事をしていますが、小学校の時に模擬店で体験したひまわり喫茶でのウェイターの経験が印象に残っていたのか、ウェイターを将来やってみたいと希望しました。本人の希望と違う仕事をする事になって大丈夫だろうかと心配しましたが、親の心配を余所に、毎日楽しそうに通所しています。

新しい友達の話、仕事のことなど、その日の出来事を時おり話してくれます。環境の変化には、多少戸惑った様ですが、常に目標を持ちみんなと助け合って自立を目指して欲しいと思います。